

<報道関係各位>

2025年3月31日

ギリアド・サイエンシズ株式会社

ギリアド、CAR T 細胞療法における 地域格差解消のための寄附プログラムを開始

ギリアド・サイエンシズ株式会社（以下「ギリアド」、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：ケネット・ブライスティング）は、特定の血液がんに対する有効性、安全性が臨床試験で確認されている CAR T 細胞療法について、地域格差を解消するための寄附プログラムを立ち上げました。

CAR T 細胞療法は、患者さんご自身の白血球の中の T 細胞を採取し、免疫機能を改変した上で患者さんの体内に戻すことにより、がん細胞を攻撃します。米国では 2017 年に、日本では 2019 年に初めて承認され、生涯で1度だけ受けられる治療法です。

日本での承認から 5 年以上経った現在、弊社が実施した調査^{※1}によると、血液がん患者さんの約 7 割が CAR T 細胞療法に関心があると回答しています。一方、2019 年から 2023 年までに医療機関が登録した CAR T 細胞療法を含む細胞療法を受けた患者数^{※2}を見ると、全体の約 55%が東京や関西圏に集中し、細胞療法が実施されていない県が多くあることが分かります。そのような状況から、CAR T 細胞療法を必要とする患者さんに CAR T 細胞療法を届けるためには、地域格差を解消することが必要と推測されます。

そこで本プログラムでは、CAR T 細胞療法における地域格差解消につながる活動案を募集し、寄附を通じて支援をします。寄附の対象となる団体は、応募いただいた活動案の中から、審査基準に基づき、弊社の審査委員会による厳正なる審査を経て決定します。募集期間は 2025 年 4 月 8 日（火）から 2025 年 7 月 7 日（月）です。

本プログラムの実施を受け、代表取締役社長のケネット・ブライスティングは次のように述べています。「当社は、CAR T 細胞療法を対象とする寄附プログラムを初めて実施いたします。私たちの目標は、治癒の可能性を持つ CAR T 細胞療法を必要とする血液がん患者さんが、日本のどの地域に住んでいても、等しく治療の機会を得ることができるよう、環境整備に貢献していくことです」

※1 CART細胞療法についての認知度調査（2024年10月～11月、インターネット調査）

15～69歳の男女（血液がん患者さん：100名、一般生活者：300名）

※2 一般社団法人日本造血細胞移植データセンター 2023年度全国調査報告書 IV.細胞治療件数の集計

表2 2019年から2023年までに実施された細胞治療の疾患別/診療科別報告件数

【募集要項】

- 応募団体の条件
 - 非営利団体であること（民間企業は対象外）
 - 定款、前年度の活動報告書、財務報告、役員名簿があること

- 活動案の条件
 - 2026年8月末日までに一定の成果が見込める活動であること
 - 営利目的の活動ではないこと
 - 医療関係者に個人的利益をもたらす活動ではないこと
 - 採択された活動の期間中、ギリアド社のCART関連広報活動にご協力いただくこと

- 応募から選定までの流れ
 - 応募期限 2025年7月7日
 - 選考 2025年7月下旬
 - 選出者決定 2025年8月上旬

- 応募先
 - 寄附プログラムウェブページ
<https://www.gilead.co.jp/our-purpose/giving/apply-for-a-grant>
 - 必要な書類の準備、応募についてサポートが必要な場合は、下記事務局までお問い合わせください。
ギリアド寄附プログラム支援事務局（株式会社ココノッツ内）
E-mail: gilead_comms@cocoknots.co.jp TEL: 03-5213-4410（平日 10:00-17:00）

ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、すべての人々にとって、より健康な世界の実現を目指し、35年以上にわたり医療の革新を追求し、飛躍的な進歩を遂げてきたバイオ医薬品企業です。当社はHIV、ウイルス性肝炎、COVID-19、がんなどの生命を脅かす疾患の予防と治療のため、革新的な医薬品の開発に取り組んでいます。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35カ国以上で事業を行っています。